

個の想い × デザイン × 切磋琢磨 = 豊かな社会

T · E · I · B · A · N

Japan classico

奈良の動詞のデザイン展

入浴剤をデザインするのではなくてバスタイムをデザインする。製品をデザインするのではなくて、どうしてそれが大切なのか、名詞のデザイン（物体）の前に、想いや理念、そこに至るプロセスなどの「動詞のデザイン」をテーマとした展覧会です。

薬湯、ハーブ酒 / Yaquo Warms Labo
吉野葛への想い / TSUJIMURA
天然ミントの湿布 / Mint Therapeutics
暮らしと麻 / Mafu a Mano
パーマメント・ジャケット / Sociel
奈良の煎茶、焙じ茶、茶粥 / Team T
動きが生まれるシャツ / ヴアレイ
ニットの可能性を追求 / COTOYUI

ハンドメイドの貝ボタン / 4Nov
未完成なペーパーフォルダー / hachi-wari
家具と空間づくり / 坪岡林業・聖山
町家に住まう旅 / 紀寺の家
奈良筆の魅力 / 鈴木一朗
空間設計への想い / イクラ・デザイン
山と水を守る / 坂利製麺所
サンブラチナ製眼鏡 / 高畑めがね工房

建具によるスペースデザイン / 杉森建具
足から生活にリズムを / Caqueco
墨の贈り物 / 松壽堂
鉄の欠片、道標 / 垣本鉄工所
革張り椅子職人 / naice 中田真太郎
ボーダレス、そして現実性のあるウェア / Aruki-tsudukeru
瓦の可能性 / KAWARAISHI
Reading Nook (秘密基地) / 煎茶と靴下、そして薬草

8-10 AUGUST 2017

会期：8月 8日 (火) 12:00 ~ 20:00
8月 9日 (水) 10:00 ~ 20:00
8月 10日 (木) 10:00 ~ 18:00

会場：奈良県文化会館 1F 展示室 A 奈良市登大路町 6-2
主催：奈良県：奈良県産業振興総合センター TEL 0742-31-9084

同時開催
裏面を

空中大和茶カフェ



それぞれの
ブランド化を
実現するための
プラットフォーム

奈良ブランド開発支援事業は、従来の地域ブランドとは異なり、モノ単体の開発ではなく、個々の企業がブランドの世界観を構築し、生活者からの共感を得てファンの獲得につなげていこうとする県内企業のブランドディングを支援していく事業です。地域を越えて多様な業種が参加し、短期的成果よりも顧客と真摯に向き合おうとする社会性の高い事業者の参加によって、相互刺激を喚起するプラットフォームを構築しています。これらを通じて個々の事業者のプラットフォームを図り、自分たちの個性を見出した事業者は、松屋銀座リビングデザインセンターOZONE等において個々の世界観を披露する機会を獲得し、顧客との対話を試み、新しい生活ビジョンを感じさせることによって個々の企業のブランド構築の実現を目指しています。



「切磋琢磨」

互いがライバルでありながら、協働体でもある。

N・A・R・A T・E・I・B・A・N

奈良県が行政としてこだわってきたのは、ものが結実する前のプロセスのデザインである。仕組みを生みだし、人を育て、それを高度化していくことで本質的に継続性の高いデザインの苗床というべきものを実現させた。そこから生まれた十数点の奈良定番と取り組みの全体像を紹介する。その動詞的とも言うべきデザインは、人と伝統的な資源を結びつけ、新しいものを生み出していく 全国での規範となる試みである。

第716回デザインギャラリー 1953 企画展

奈良ブランド開発支援事業は3年連続でグッドデザイン賞を受賞しました。それには、この事業に対する外部評価を得ようとしてグッドデザイン賞に応募した経緯があります。そしてグッドデザイン賞の受賞が、松屋銀座での展開につながっています。

松屋銀座とグッドデザイン賞との関係は深く、グッドデザイン賞そのものは約60年前、当時の通産省のもとでデザイン後進国といわれてきたわが国の状況に対してデザインの啓蒙運動として始められました。すでに松屋銀座と日本デザインコミッティが行っていた「デザイン運動」が母体となっていました。近年、グッドデザイン賞はデザインがモノ単体のカッコ良さとか機能性だけではなく、そこに至るプロセスや活動、社会に向き合う姿勢なども含めてモノの背景にある見えない物事までもデザインとして評価するという視点の浸透を図って来ました。デザインは単に表面を飾り立てることによって美しくみせる行為と解されるような社会的理解でしたが、デザインという言葉の本来の意味である「問題を解決するために思考・概念の組み立てを行い、それを様々な方法で解決する」という原点に立ち戻ろうとする動きです。

同時開催

空中大和茶カフェ

内容 : 茶農家による煎茶の真髄を御体験いただけます。
参加費 : 1,000円(極上大和茶、お菓子、お茶のお土産)
定員 : 各回15名
予約制 : EメールかTELで<<8月7日(月)締切り>>
①氏名 ②電話番号 ③希望日時 ④参加人数
*先着順 *当日券若干あり
申込み : The Sencha Tea Room「煎茶と靴下、そして葉草」
TEL 070-5438-2016 (12:00~20:00 不定休)
Eメール thesenchatearoom@gmail.com

入替え制

8月8-9日	8月10日
①16:00-16:40	①14:00-14:40
②17:00-17:40	②15:00-15:40
③18:00-18:40	③16:00-16:40
④19:00-19:40	④17:00-17:40

主催 : 空中大和茶カフェ実行委員会

■ <http://sencha.exblog.jp/>